



愛川ふれあいの村 今月の風景

2025年8月 自然のたより

ジリジリと照り付ける太陽に肌が焼ける感覚のする8月。夏らしい抜けるような青空に植物の緑が良く映えています。晴れの日が続いて嬉しい反面、雨が少なく、植物や生き物たちにとっては辛い日々なのかもしれません。暦上は立秋を迎えています、いつ頃「秋らしさ」を感じることができるのでしょうか。（大瀧）



キツネノカミソリ



シジュウカラ幼鳥、虫ゲット



ミヤマアカネ



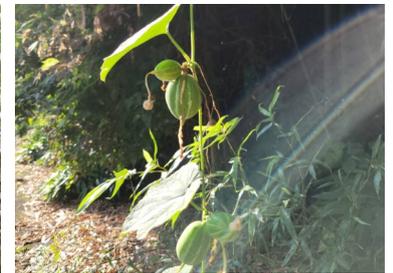
ガガイモ



ボタンツル



エンジュ



カラスウリ



アキアカネ



シオカラトンボ



ハグロトンボ



事務室に来たオニヤンマ



ツノトンボ



メジロ



ツバメ2番子は2羽



キビタキ

トピックス★片道切符で旅するトンボ★

高校野球の夏の甲子園大会でグラウンドをたくさん「赤トンボ」が乱舞する様子が話題になることがあります。でもこれは、赤トンボではありません。

赤トンボは、トンボ科アカネ属のトンボです。甲子園を飛ぶトンボはトンボ科ウスバキトンボ属のウスバキトンボという、赤トンボとは別のグループの種類です。代表的な赤トンボのナツアカネやアキアカネよりもひと回り大きく全身がオレンジ色で翅（はね）が薄く大きいのが特徴です。重さはなんと0.3グラムしかなく、ゆっくりとグライダーのように空を飛びます。毎年、熱帯・亜熱帯地域より海を渡って日本に飛来します。1ヶ月程で卵から成虫になるウスバキトンボは世代交代を繰り返しながら北へ向かいます。

ウスバキトンボの旅の最後は北海道からカムチャツカ半島まで至ります。しかし、ウスバキトンボは元は南国のトンボです。水温が4℃以下になると幼虫のヤゴは死んでしまいます。目的地で冬を越すことは出来ません。この旅は、希望も戻り道もない「片道切符の旅」です。

毎年お盆の頃に多く見られるウスバキトンボは「盆トンボ」とか「精霊トンボ」と言われます。少し涼しくなった夕暮れ時、陽の光に照らされ翅を黄金色に輝かせて群れ飛ぶウスバキトンボを見ると、何故、生きられない北へ向かうのか聞きたくなります。（高梨）



生き物

★オオミズアオ★

暑さのせいなのか、今年の夏はセミの数が少なく感じます。そんな暑い夏になると姿を現すヤママユガの仲間がいます。オオミズアオです。

オオミズアオは最大120mmにもなる大型の蛾で、夏の始まりと終わりに2回発生時期を迎えます。成虫になると口が退化するので、一切の吸蜜も吸水もしません。なので、幼虫時代に蓄えたエネルギーを使って、約1週間という短い成虫時代を過ごす事になります。成虫になるとオスがメスと出会う為に夜になると活動が活発になります。子孫繁栄のために短い命を振り絞っているのですが、緑で美しい見た目なので、鳥などの天敵から襲われやすくなっています。

この時期になると村内を歩いているとボロボロの羽が落ちていることも多々あります。オオミズアオを見つけると夏の知らせと共に自然の厳しさ、命の儚さを感じてしまいます。（小熊）



旬

★茗荷（みょうが）★

今年の夏は30度を超える暑さで毎日辛いですね。そんな時、さっぱりとしたそうめん・冷や麦・うどん・蕎麦など、喉越しの良い食べ物が食べたくなります。そんな食べ物にぴったりの薬味、『茗荷』。

茗荷は、日本古くから親しまれてきた夏の代表する薬味です。爽やかな香りがアルファピネン精油成分によるもので、食欲を増進させる働きがあります。カリウム・マグネシウム・ビタミンEなど身体に必要な栄養素が含まれ夏バテ予防に効果があると言われてい

ます。薬味の他、夏野菜と一緒に料理してみてもいかがでしょうか。今年の暑い夏、茗荷の爽やかな香りで乗り切りましょう。（菅原）



全変態と言います。アオハダトンボ（左下の写真）やキイトトンボ、チョウトンボは、以前は良く見たトンボですが最近あまり見かけなくなってきました。このようにトンボの世界も開発行為により水辺地帯の減少や自然河川の消失が発生しています。またアメリカザリガニやウシガエルなど外来種の持ち込みなども原因です。今こそ生態系保全が大切です。（吉田）

来月の見どころ
トンボの世界
日本で一番美しいトンボは、姿や模様が自然の中で映えるミヤマアカネと言われています。（左上の写真）
日本のトンボは、約二百種。昔から水田の稲に害を与えるウンカを食べにくれます。地球温暖化が問題となってくる今は、ヤゴの時はボウフウを食べ、成虫のトンボになると捕まえていく蚊を食べてくれる益虫と呼ばれています。新聞でも見ましたが殺虫剤をまかない有機農法は、生態系を支える指標とされています。
また蝶のように卵↓幼虫↓蛹↓成虫のよう変化する昆虫を完全変態と言います。トンボは蛹の時期がないので不完全変態と言います。